様式第１－２ （冒認対策商標申請用）

年 月 日

公益財団法人にいがた産業創造機構

理事長　　泉田　裕彦　様

申請者 住所

氏名 　法人等にあっては名称

及び代表者の氏名 　 印

平成　年度中小企業知的財産活動支援事業費補助金

（中小企業等外国出願支援事業）

間接補助金交付申請書

　中小企業知的財産活動支援事業費補助金実施要領（中小企業等外国出願支援事業）第６条第１項の規定に基づき、上記補助金の交付について下記のとおり申請します。

なお、適正化法、適正化法施行令、中小企業知的財産活動支援進事業費補助金交付要綱（中小企業等外国出願支援事業）（平成２７年４月９日付け２０１５０３２４特第２号）及び中小企業知的財産活動支援進事業費補助金実施要領（中小企業等外国出願支援事業）（平成２７年４月９日付け２０１５０３２４特第３号）の定めるところに従うことを承知の上申請します。

記

１．申請者種別（いずれかに○）

|  |  |
| --- | --- |
|  | ①法人 |
|  | ②個人事業者 |
|  | ③事業協同組合等 |
| ④ | ④商工会、商工会議所 |
| ⑤ | ⑤ＮＰＯ法人 |

２．申請者の概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 資本金 | 従業員数 | 業種 |
| 円 | 人 |  |

３．間接補助金交付申請額

　　　　　　　　 円

（内訳）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 （単位：円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 国名／合計 | 外国特許庁への出願手数料 | 現地代理人費用 | 国内代理人費用 | 翻訳費用 | 国別計／合計 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 外国出願経費合計 |  |  |  |  |  |
| 助成対象経費 |  |  |  |  |  |
| 間接補助金申請額 |  | | | |  |

※国別の外国出願経費の内訳、内訳項目ごとの助成対象経費及び間接補助金申請額を記載。

４．申請案件種別

　　冒認対策商標

1. 外国特許庁への出願の方法（該当するものに○（複数可））

|  |  |
| --- | --- |
|  | ①パリ条約等に基づき、外国特許庁への出願を行う方法 |
|  | ②マドリッド協定議定書に基づき、外国特許庁への出願を行う方法 |

６．外国特許庁への出願の基礎となる国内出願の内容

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 出願番号 |  | 出願日 |  |
| 出願人 |  | | |
| 登録番号 |  | 登録日 |  |
| 権利者 |  | | |
| 商標登録を受けようとする商標 |  | | |
| 商品及び役務の区分並びに指定商品又は指定役務 |  | | |

※外国特許庁への出願の基礎となる国内出願が既に登録を受けている場合には、「登録番号」及び「登録日」も合わせて明記し、「出願人」と「権利者」が異なる場合は、それぞれ明記してください。

※基礎となる国内出願が複数ある場合には、それぞれ明記してください。

７．外国特許庁への共同出願の有無

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 有 |  | 無 |  |

（有の場合）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 共同出願人 | 権利の持ち分 | 費用負担割合 |
|  |  |  |
|  |  |  |

８．外国特許庁への出願に関する出願計画の内容

|  |  |
| --- | --- |
| 商標登録を受けようとする商標 |  |
| 商品及び役務の区分並びに指定商品又は指定役務 |  |
| 出願人 |  |
| 出願（予定）国 |  |
| 出願スケジュール |  |

※「出願人」の欄は、全ての出願人を明記してください。

９．外国特許庁への出願の動機・目的（○を付すとともに説明を記載）

|  |  |
| --- | --- |
|  | 1. 外国における冒認出願を防止するため |

（説明）

|  |
| --- |
|  |

10．出願（予定）国を選んだ理由

|  |
| --- |
|  |

11．出願する商標を使用する製品等の概要

|  |
| --- |
|  |

12．出願（予定）国における先行・類似調査の状況

|  |
| --- |
|  |

13．過去における商標登録出願の実績及び権利取得状況（国内及び外国）

|  |
| --- |
|  |

14．外国特許庁への出願を依頼する国内弁理士等（選任代理人）

　　※選任代理人に依頼しない場合にはその旨及び選任代理人に依頼する場合と同等の書類

（間接補助金交付の必要書類）を自らの責任で補助事業者あてに提出できる旨を記入。

|  |
| --- |
| （選任代理人による本事業への協力に関する承諾状況は別紙のとおり） |

15．補助事業完了後の状況調査に対する積極的な協力の有無（いずれかに○）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 有 |  | 無 |  |

16．外国特許庁への出願に関する他の公的機関（独立行政法人日本貿易振興機構含む）の助成制度の利用予定の有無（いずれかに○）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 有 |  | 無 |  |

（有の場合のその内容）

|  |  |
| --- | --- |
| 補助事業者名  （自治体等） |  |
| 助成制度の内容 |  |

17．担当者及び連絡先

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 担当者（職名及び氏名） | |  | | |
| 電話番号 |  | | メールアドレス |  |

様式第１－２の別紙 （選任代理人に依頼しない場合は不要）

年 月 日

法人等にあっては名称

及び代表者の氏名　宛て

（申請者） 　選任代理人　住所

　 氏名 法人等にあっては名称

及び選任代理人の氏名 印

平成　年度中小企業知的財産活動支援事業費補助金（中小企業等外国出願支援事業）への

協力承諾書

　平成　年度中小企業知的財産活動支援事業費補助金（中小企業等外国出願支援事業）間接補助金交付申請にあたり、同補助金の交付にかかる諸手続について、下記事項に協力することを承諾いたします。

記

協力事項

１．外国出願完了後の補助事業者宛ての実績報告における下記書類の提出

（１）外国特許庁からの出願受理に関する応答書類

　　①外国特許庁からの出願受理通知書等（出願日・出願番号記載のもの）

　※マドリッド協定議定書に基づく国際商標登録出願の場合

①日本国特許庁長官発行の商標法第６８条の３第３項に基づく通知

　（国際商標登録出願（マドプロ出願）の願書【MM2】及び付随書類を含む）

　なお、事後指定の場合は、マドプロ出願の願書【MM4】のみで可

②国際事務局（WIPO）発行の「国際登録証明書」（CERTIFICATE OF REGISTRATION）

（２）外国特許庁への出願に関する経費の支出根拠及び支払実績となる書類

①現地代理人からの請求書（銀行口座名・口座番号及び助成対象経費内訳記載のもの）

②現地代理人への送金金融機関発行の送金計算書・送金実行通知書

③送金時の為替レートが客観的にわかる金融機関の為替レート表

　※請求書内で現地通貨から他の通貨に換算している場合は、根拠となる参考レート

④外国特許庁への出願手数料（オフィシャルフィー）のエビデンス（領収書、料金表等）

⑤翻訳費用の「1WORDの単価×WORDの数」等の内訳を明示する書類

⑥その他、外国特許庁への出願に関する経費のエビデンス（請求書、領収書等）

⑦「実績報告書」の「２．間接補助事業の収支決算（イ）経費の内訳」における経費区分ごと出願国ごとの計算過程及び助成対象経費か否かわかる内訳書

　　※マドリッド協定議定書に基づく国際商標登録出願の場合

①国際事務局（WIPO）への送金に係る金融機関の送金計算書・送金実行通知書等

②国際事務局（WIPO）発行の国際手数料の領収書（QUITTANCE/RECEIPT）

③翻訳費用の「1WORDの単価×WORDの数」等の内訳を明示する書類

④その他、外国特許庁への出願に関する経費のエビデンス（請求書、領収書等）

⑤「実績報告書」の「２．間接補助事業の収支決算（イ）経費の内訳」における経費区分ごと出願国ごとの計算過程及び助成対象経費か否かわかる内訳書

２．上記提出書類における日本語以外の言語の日本語訳の提出

３．申請者・補助事業者からの上記提出書類に関する修正や問合せ等への対応

４．その他、補助事業者が公募時等において予め提示している事項

なお、上記協力の不実施により補助事業者宛ての実績報告に不備があった場合には、私の責任において同補助金交付に関する不利益を補償することに同意します。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 添　　　　　　　付　　　　　　　書　　　　　　　類 |
| 法人 | １．登記簿謄本の写し  ２．会社の事業概要（注１）  ３．役員等名簿（注２）  ４．直近２期分の決算書（貸借対照表及び損益計算書）の写し等  ５．外国特許庁への出願の基礎となる国内出願にかかる出願書類  ６．外国特許庁への出願に要する経費が確認できる見積書等（写しも可）（注３）  ７．外国特許庁への出願に要する経費に関する資金計画（自己資金・借入金等）  ８．先行・類似調査の結果（注４）  ９．外国特許庁への出願が共同出願の場合は持分割合及び費用負担割合の明記があ  る契約書等の写し  10．その他補助事業者が定める事項 |
| 個人事業者 | １．住民票の写し  ２．事業者の概要（注１）  ３．役員等名簿（注２）  ４．直近２年分の確定申告書の控え等  ５．外国特許庁への出願の基礎となる国内出願にかかる出願書類  ６．外国特許庁への出願に要する経費が確認できる見積書等（写しも可）（注３）  ７．外国特許庁への出願に要する経費に関する資金計画（自己資金・借入金等）  ８．先行・類似調査等の結果（注４）  ９．外国特許庁への出願が共同出願の場合は持分割合及び費用負担割合の明記があ  る契約書等の写し  10．その他補助事業者が定める事項 |
| 事業協同組合等 | １．定款  ２．役員等名簿（注２）  ３．組合員名簿  ４．直近２年間の決算関係書類の写し（認可庁等に報告しているもの）  ５．外国特許庁への出願の基礎となる国内出願にかかる出願書類  ６．外国特許庁への出願に要する経費が確認できる見積書等（写しも可）（注３）  ７．外国特許庁への出願に要する経費に関する資金計画（自己資金・借入金等）  ８．先行・類似調査等の結果（注４）  ９．外国特許庁への出願が共同出願の場合は持分割合及び費用負担割合の明記があ  る契約書等の写し  10．その他補助事業者が定める事項 |
| 商工会・商工会議所 | １．登記簿謄本の写し  ２．役員等名簿（注２）  ３．直近２年間の決算関係書類の写し  ４．外国特許庁への出願の基礎となる国内出願にかかる出願書類  ５．外国特許庁への出願に要する経費が確認できる見積書等（写しも可）（注３）  ６．外国特許庁への出願に要する経費に関する資金計画（自己資金・借入金等）  ７．先行技術調査等の結果（注４）  ８．外国特許庁への出願が共同出願の場合は持分割合及び費用負担割合の明記があ  る契約書等の写し  ９．その他補助事業者が定める事項 |
| ＮＰＯ法人 | １．登記簿謄本の写し  ２．役員等名簿（注２）  ３．直近２期分の決算書（貸借対照表及び損益計算書）の写し等  ４．外国特許庁への出願の基礎となる国内出願にかかる出願書類  ５．外国特許庁への出願に要する経費が確認できる見積書等（写しも可）（注３）  ６．外国特許庁への出願に要する経費に関する資金計画（自己資金・借入金等）  ７．先行技術調査等の結果（注４）  ８．外国特許庁への出願が共同出願の場合は持分割合及び費用負担割合の明記があ  る契約書等の写し  ９．その他補助事業者が定める事項 |

（注１）法人における「会社の事業概要」及び個人事業者における「事業者の概要」については、それぞれ事業概要が明記されているパンフレットによる代用が可能。

（注２）「役員等名簿」については、別添を参考に、法人である場合は役員、個人事業者である場合はその者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者について記載する。

（注３）「見積書等（写しも可）」については、現地代理人費用の支出予定先の明記が必要（翻訳費用等についても、国内代理人が他者に依頼する場合は、支出予定先を明記）。

（注４）「先行・類似調査等の結果」については、調査結果のみならず、調査種類、調査対象範囲、調査実施者等も記載する。なお、Ｊ-ＰｌａｔＰａｔ（特許情報プラットフォーム）による検索結果の写しによる代用が可能。

様式第１－２の別添

役員等名簿（記載例）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名カナ | 氏名漢字 | 生年月日 | | | | 性別 | 会社名 | 役職名 |
| 和暦 | 年 | 月 | 日 |
| ｸﾝﾚﾝ ｼﾞｯｼ | 訓練　実施 | S | 30 | 03 | 04 | M | 株式会社訓練 | 代表取締役社長 |
| ﾄｳﾎｸ ｲﾁﾛｳ | 東北　一郎 | S | 40 | 01 | 01 | M | 株式会社訓練 | 常務取締役 |
| ｶﾝｻｲ　ｼﾞﾛｳ | 関西　次郎 | S | 45 | 12 | 24 | F | 株式会社訓練 | 取締役営業本部長 |
| ﾄｯｷｮ　ﾊﾅｺ | 特許　花子 | S | 55 | 04 | 18 | F | 株式会社訓練 | 監査役 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（注）

　役員等名簿については、氏名カナ（半角、姓と名の間も半角で１マス空け）、氏名漢字（全角、姓と名の間も全角で１マス空け）、生年月日（半角で大正はT、昭和はS、平成はH、数字は２桁半角）、性別（半角で男性はM、女性はF）、会社名及び役職名を記載する。（上記記載例参照）。

　また、外国人については、氏名欄にはアルファベットを、氏名カナ欄は当該アルファベットのカナ読みを記載すること。なお、役員等には監査役を含む。